

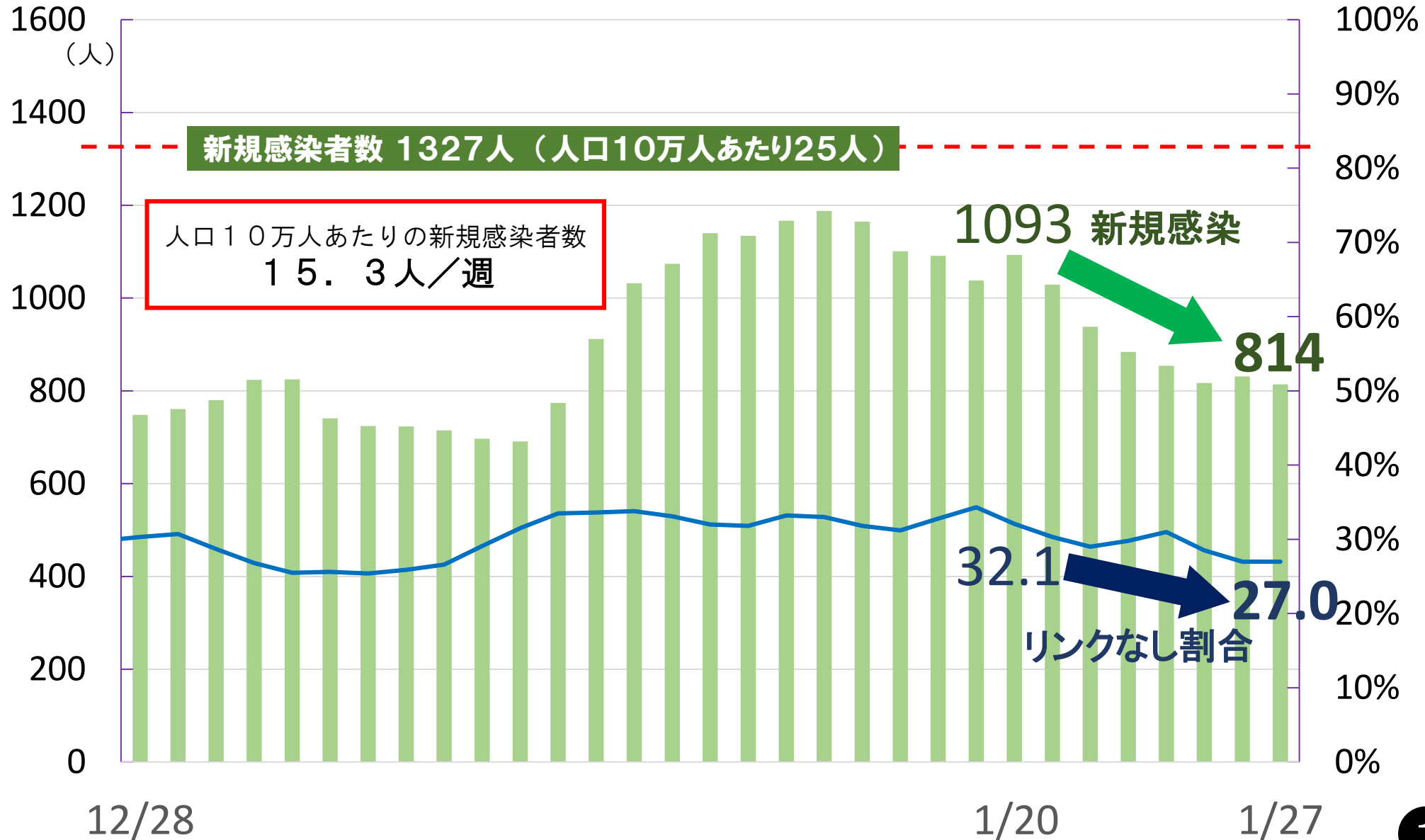
道内の感染状況等について

【令和3年1月28日】

新規感染者の状況

新規感染数(7日間合計)

リンクなし割合(7日間平均)



新規感染者数 1327人 (人口10万人あたり25人)

人口10万人あたりの新規感染者数
15.3人/週

1093 新規感染

32.1

リンクなし割合

814

27.0

10万人当たりの新規感染者数

■直近1週間(1/20~26)

【出典:各都府県公表資料を基に北海道作成】

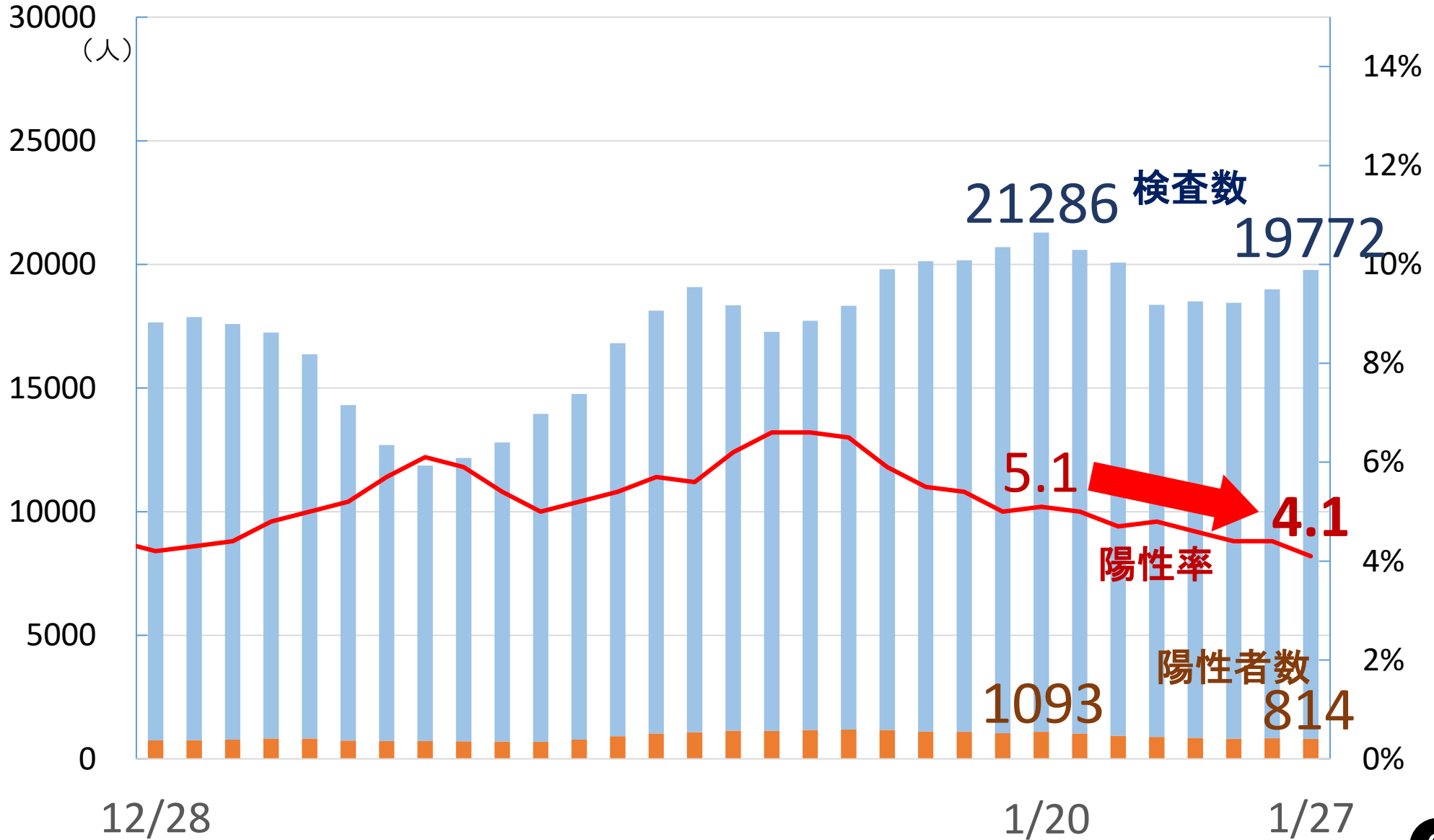
1	東京都	54.7
2	千葉県	43.3
3	神奈川県	42.3
4	沖縄県	38.6
5	大阪府	34.3
6	京都府	32.2
7	埼玉県	31.6
8	福岡県	30.3
9	兵庫県	26.5
10	愛知県	19.5

11	茨城県	18.5
12	奈良県	16.7
13	岐阜県	16.4
14	滋賀県	16.1
15	北海道	15.7
16	宮崎県	14.9
17	栃木県	14.2
18	群馬県	14.1
19	佐賀県	13.7
20	山口県	13.5

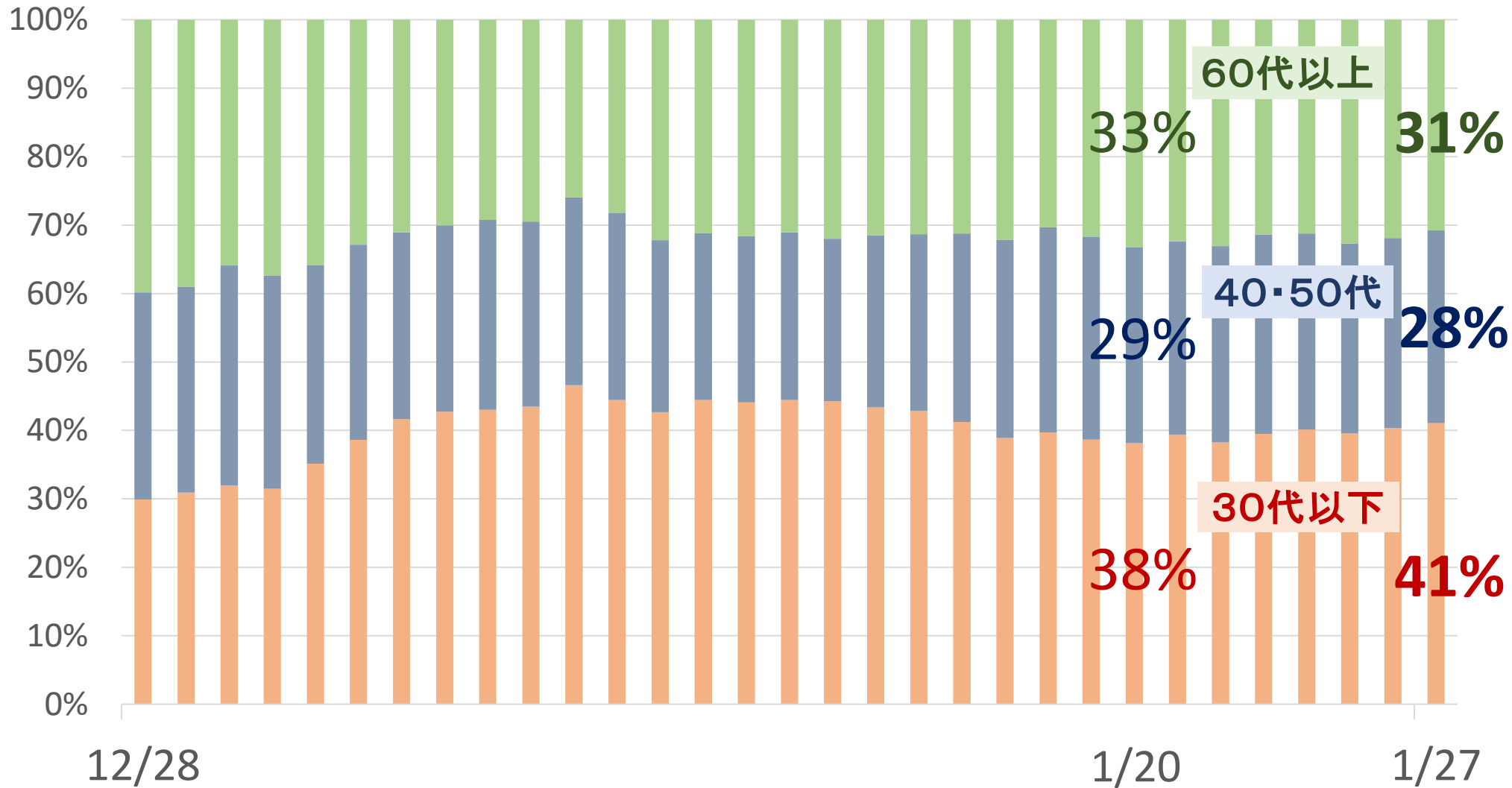
検査数・陽性率の状況

検査数・うち陽性者数（7日間合計）

陽性率（7日間平均）



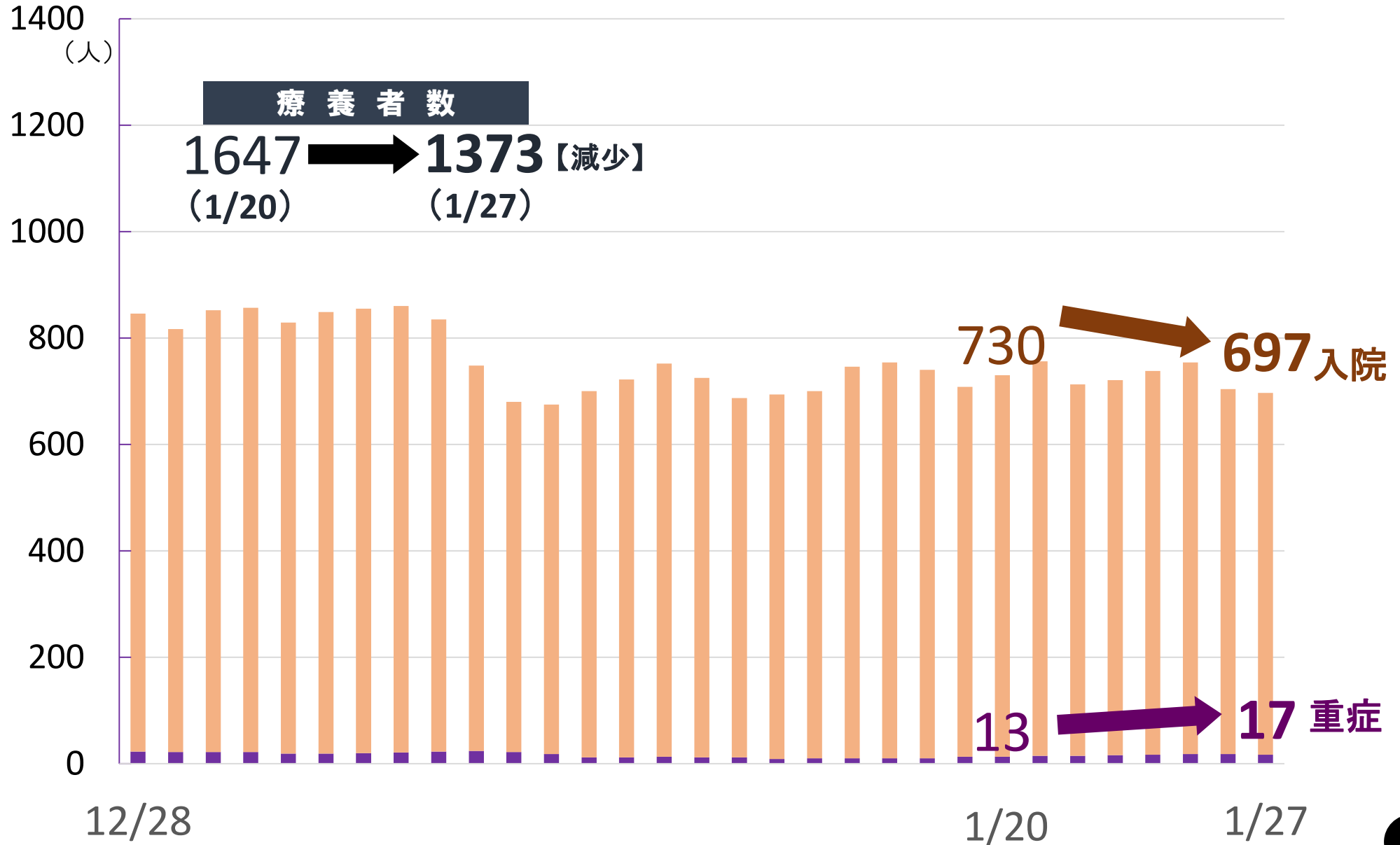
新規感染者の年代別割合(全道)



(新規感染者のうち年齢公表分を7日間平均で集計)

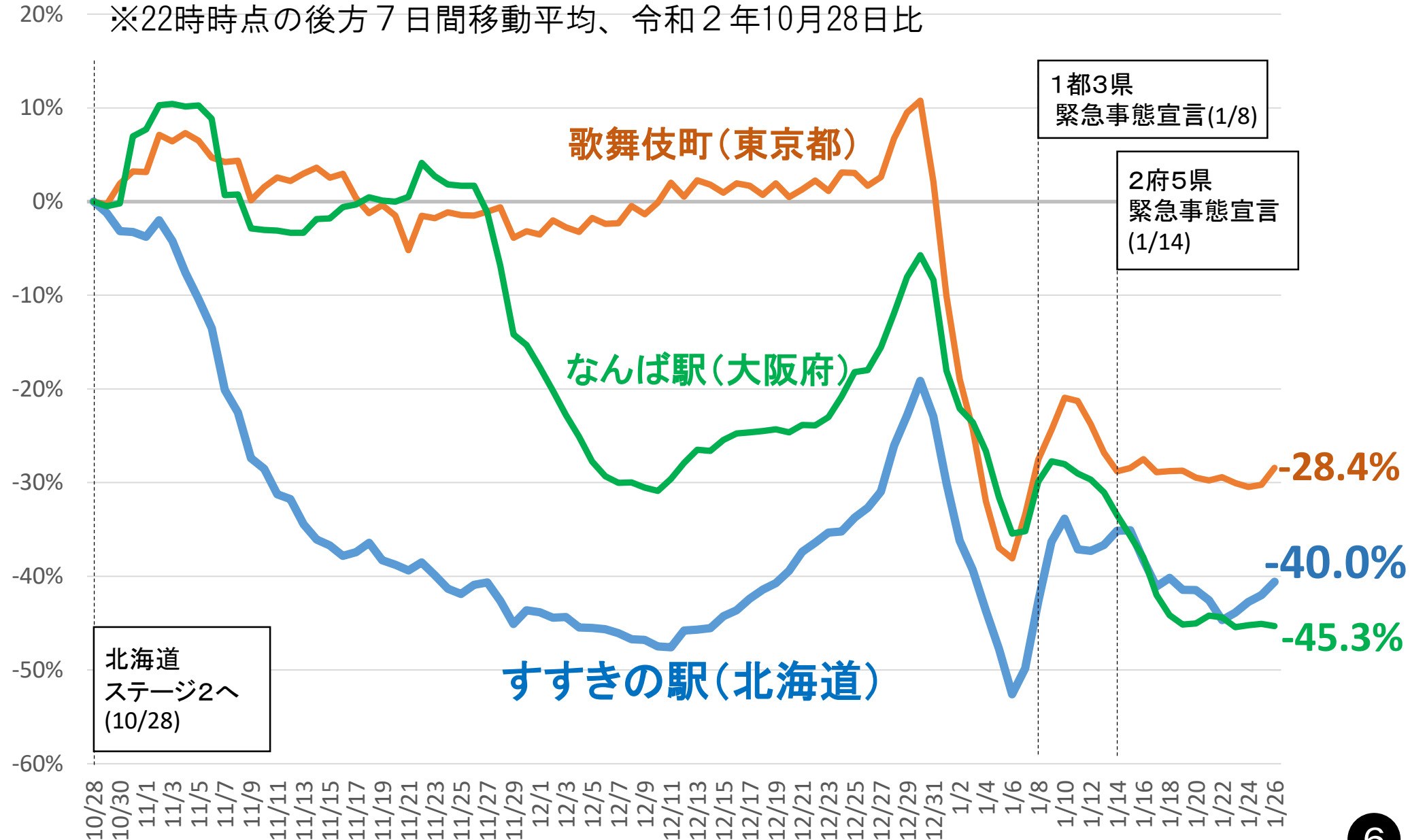
医療提供体制の状況

入院者数・うち重症者数



全国主要地域の人出(対10月28日比)

※22時時点の後方7日間移動平均、令和2年10月28日比



※(株)Agoop提供データを基に北海道作成

地域別の感染状況

	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	道外	合計
1/14 ～ 1/20	23	629	96	47	2	175	0	22	12	1	31	39	13	1	2	1093
1/21 ～ 1/27	20	415	95 うち 小樽市 (90)	57	0	91	0	48	3	0	20	23	40	1	1	814

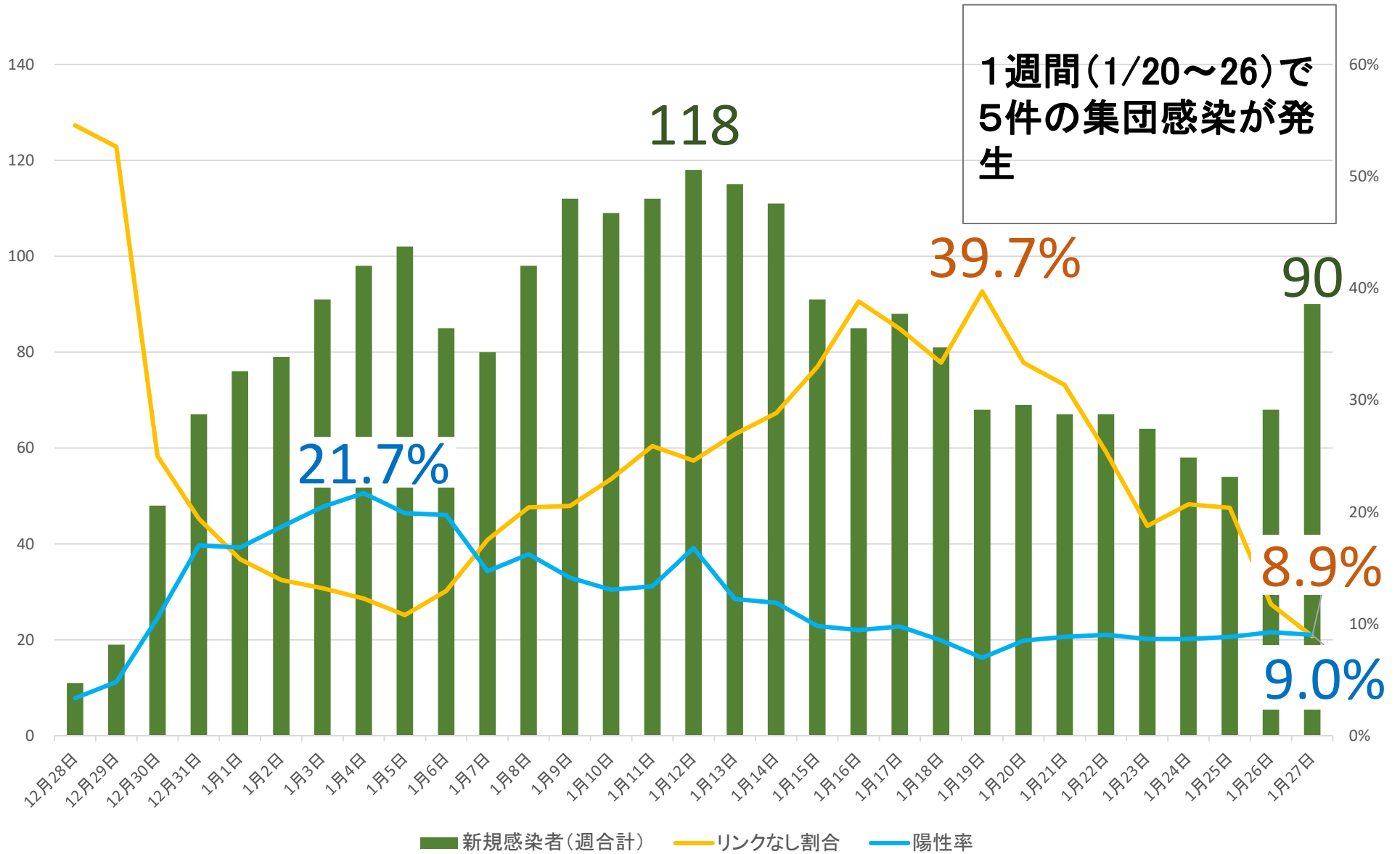
※「居住地」により整理。なお、各保健所設置市が居住地非公表として発表した者は、各振興局等に含めて計上。

集団感染の発生状況

	11月	12月	1月	直近1週間 (1/20~26)
医療施設 福祉施設	47件 (1883人)	45件 (1559人)	22件 (384人)	6件 (91人)
飲食店等 (※)	19件 (222人)	7件 (56人)	14件 (162人)	7件 (56人)
事業所等	17件 (220人)	7件 (143人)	8件 (73人)	3件 (23人)
学校	11件 (179人)	10件 (202人)	5件 (75人)	4件 (55人)
合 計	94件 (2504人)	69件 (1960人)	49件 (694人)	20件 (225人)

※接待を伴うものを含む

小樽市の感染状況



総 評 ①

【感染状況】

- 新規感染者数は先週に比べ減少。
- 10万人当たりの感染者数も減少しているが、引き続き100名を超える日が続いている。
- また、医療施設・福祉施設に加えて、飲食店等及び学校において、集団感染が多く発生。
- 特に、小樽市においては、集団感染が多発しており、人口当たりの感染者数は、極めて高い水準。
- すずきの地区の人流は先週に比べ微増。

【医療提供体制】

- 入院患者数及び療養者数は先週に比べ減少したが、入院患者数は、引き続き700名程度で推移。また、重症者数は増加。
- 特に、小樽市では、入院患者数及び療養者数の増加により、市内医療機関への負荷も高まっていることから、後志圏と札幌圏での入院調整を実施。

総 評 ②

【今後の対応】

- 小樽市においては、幅広い業種にわたる集団感染の発生により感染拡大が続いており、今後は市中における感染がさらに広がる可能性があることから、札幌市と隣接し、後志管内の中核都市という特殊性を踏まえ、これ以上の市内の感染拡大を防止するため、行動変容のさらなる徹底と、集団感染へのより迅速な対応が重要となっている。
- このほか、全道各地で集団感染が続いており、引き続き、集団感染への迅速な対応に取り組むとともに、飲食の場面における感染リスクの回避など、感染拡大防止の徹底に取り組む必要がある。